

Mountaineering Ski

天候
晴れ
雪

メンバー

大塚賢一 46才
田代恵子 36才
安田豊太郎 32才
岸本陽介 28才

Vol.8 2001. 4/28-29 中央アルプス

紀行文
大塚賢一
田代恵子
岸本陽介

写真&編集
大塚賢一

28日

極楽平(アイゼン登行)---三ノ沢カール(滑降&アイゼン登り返し)---極楽平(滑降)---千畳敷カール、中岳、木曾駒ヶ岳(アイゼン登行)---頂上木曾山荘(泊)

今年は昨年より雪量が非常に少なく中岳から木曾駒ヶ岳の山腹はほとんどが岩肌を出していた。おかげで究極の木曾駒ヶ岳トラバースもしなくて済んだ。

初めての試みは宝剣岳へのピッケル・アイゼンでの登山&懸垂下降・・・一から十まですべて初体験の3人にはよい経験となったことであろう。

個人的に大好きなオヤジの頂上木曾山荘では我々だけの宿泊客でのんびりとさせてもらった。

私にとっての極楽坂の大滑降のリベンジはまたもや、はじき飛ばされ再び来年への課題となった。



木曾駒ヶ岳山頂にて御来光

待ちに待った中央アルプス大滑降の日がやってきた。天の恵みもあり天気は雲一つない大快晴！スカイブルーの空に天高くそびえる黒い岩綾帯を従える宝剣岳、それらを包み込む巨大なカール。2週間前の御嶽山ツアーのシルトレーニングと違い今回はアイゼン・ピッケルのトレーニングだ。取り付きがいきなり2614mとなり、入門者向けにはびつたりのツアーである。しかし、4月末といえども雪山フル装備のテント装備で十分な体力は必要である。さあ、巨大カールの大滑降でアルプスに溶け込もう。

29日

頂上木曾山荘(泊)---木曾駒ヶ岳(滑降) 中岳(滑降)---伊那前岳(アイゼン登行)---駒飼の池(滑降&アイゼン登り返し)---宝剣岳(ピッケル・アイゼン登行&懸垂下降)---千畳敷カール(滑降)



田代恵子の中央アルプス山スキー



4月28・29日で木曽駒ヶ岳へ山スキーに出かけました。メンバーはWHITE・BARDの大塚・岸本・安田・田代の4人です。

朝3時に姫路を出発。駒ヶ根インターではバイキングの朝食・・・と今回はなんだか、のんびりムードです。駒ヶ岳の出口で高速を降りると、すぐに到着。そこまでは近かったのですが、そこからのバスの長いこと、くねくね道を延々と登ります。お陰でロープウェイ乗り場に着了いた時には酔ってしまって、ゲロゲロ状態でした。せっかくのバイキングが・・・。

わくわくしながらロープウェイで千畳敷駅へ。降りるとそこには、全面に雪山が広がっていて、一般観光客や、ジェットで遊ぶボーダーやスキーヤーが結構いました。もう、上の方を登っている登山客も見えます。

ここで、登山届の提出です。協会の人や警察官もいて、計画の確認、装備のチェック、いろんな注意事項、アドバイス・・・と本格的です。ここで、高度に慣れるために、しばしの休憩タイムをとりました。

今日はメチャメチャいいお天気。シャツ1枚になって出発です。まずは、スキーを引っ張り、アイゼンで極楽平を登ります。実は私、アイゼンを履くのは今日が初めて。グサッ・グサッと気持ちいい！急斜面では



す・・・が・・・登り返さなければ・・・と思うと・・・ストップです。

次に極楽平の滑降。大塚さんにビデオを回してもらい、スタートしたものの、いきなり止まってしまいました。あまりの急斜面におじけづいてしまい、怖くて怖くて動けません。でも、行かなくては仕方ありません。バンジージャンプでもするかのように、心を決めて、エイッとターンです。超・超怖かったです。同じ所でやっさんは転倒。大塚さんも大転倒。ね、怖いでしょ。



今度は千畳敷カールを登ります。ここもすごい斜面で、ハアハア息がきれません。しかし、登りきると、山頂の素晴らしい景色です。マッターホルンによく似た宝剣岳、天狗と言うよりは、鉄人28号のような顔をした天狗岩。太陽が射して、本当に美しい景色で、気分はルンルンです。なのに、やっさんは少々バテ気味、かわいそうに・・・。中岳の山頂には、神社があり、山行の無事を祈願しました。そして、次の駒

ケ岳山頂にも神社があり、ここでもお祈りしました。山には神様がいるんですねー。

駒ケ岳山頂のすぐしたの頂上木曾山荘と言うところに、PM 6 時頃到着し、宿泊させてもらいました。今日小屋を開いたばかりらしく、泊まりは私たちだけでした。小屋のおやじさんに、いろんな話を聞きながらの宴会でしたが、私は高山病だったのか、頭痛がして、気分も悪く、早くに寝ました。



雲海に浮遊する南アルプス連峰

翌朝は、4時55分のご来光を見に行こう！とはりきっていたのですが、みんな寝坊。山頂に着いた時には、もう日が登っていて残念でしたが、それでも大変美しい景色でした。虹だ！と喜んでいたら、「あれは笠、天気が悪くなるんだ。」と教えられました。結構風があり、寒かったんですが、そんななかで、大塚さんは、大きじうち。お尻サム～。

のんびり朝食をして、2日目のスタートです。やや曇りがちだったのですが、晴れてきました。今日はスキー三昧。駒ケ岳を滑降して、中岳へ。中岳を滑降して、天狗荘へ。ここでザックをデポして、駒飼ノ池の方まで大滑降。もう最高！気持ちいい！乗越浄土の斜面が私たちを呼んでいる！次はそこだ！スキー NOW の世だー！と滑降を楽しみました。

中岳の東斜面にも惹かれるものがありました。次は、スキーを置いて、アイゼン・ピッケルで宝剣岳に登りに行きました。下から見るときびしそうでしたが、行ってみると本当にきびしかったです。直登もあり、鎖場もあり、雪山クライミングで、とっても面白かったです。私はこんなところが大好き！陽介はビビってへっぴり腰でした。山頂から中腹までは、大塚さんをお願いして、懸垂下降でおろしてもらいました。

せっかく持ってきた8環だもの、使わなきゃ！

遅いお昼をとっている頃、雪がちらほら降ってきました。ガスものぼってきています。ここまでもってくれたお天気も、ようやく崩れだしたようです。とりあえず千畳敷カールを滑ってロープウェイ乗り場まで行くことにしました。ここは、雪崩がおりやすらしく、途中まで滑降禁止区域です。仕方なく、スキーをザックに固定させてアイゼンで下降、そして途中からロープウェイ乗り場まで滑降しました。

昨日の極楽平のリベンジがしたい！と言う気持ちもありましたが、天気も崩れてきたことだし、もう十分に堪能したので、帰ることにしました。リベンジはまた来年です。リニューアルオープンしたばかりと言う温泉につかって、疲れをいやし、生ビールで喉をうるおして帰途につきました。楽しい、楽しい、充実した2日間でした。お疲れ様！！

岸本陽介の中央アルプス山スキー



雪に恵まれた今年！4月初めまでスキーのレースに勤しんでいた私だが、今年は新たに登山スキー（スキー登山と言わないところが嫌い）にもチャレンジすることとなった。まずは本番としての中央アルプスレポートである。

4月28・29日と連休を利用し、中央アルプス(木曾駒ヶ岳)へ行くと連絡を受けたのは、一通のメールからだった。送り主は大塚さん。我らがトライアスロンチームのリーダーである。この日々のために氷ノ山、御岳(僕は行けず)とトレーニング(楽しみ?)を積み、準備は完璧である。

午前3時に姫路を出発。駒ヶ岳でバイキングの朝食をとり、バス～ロープウェイと乗り継いで千畳敷へ。麓ではやっと桜が咲いた天気も、ここではまる

で真冬のように雪が張り付いている。噂に聞く千畳敷はやはり氷河で出来たカールらしい。もし真冬に雪崩でも起ころうモンなら何処にとりついていても逃れられないような地形である。しかし、4月も半ばを過ぎると雪が安定しているので比較的安全らしい。証拠にカールの最下部ではポニーリフトで多数のボーダー、スキーヤーが楽しんでいる。

登山届けを提出し、様々な注意事項や、アドバイスのチェックを受ける。登山協会や警察官(そういえば『ピッケルを担いだお巡りさん』っていう本があったっけ。)が大きな双眼鏡で監視していた。今日の天候(ピーカン日和)ならよく見えるだろう。

コーラでも飲みながら高度順化(いきなりだと辛い)を済ませ、いよいよ極楽平へ登る。スキー引っぱり、アイゼン装着である。踏みしめる雪が心地良い。トップの大塚さん(リーダー)は快調に登ってゆく。二番手にお恵ちゃん。(唯一の紅一点!華奢に見えるが凄い体力根性の持ち主である)、三番手に安田さん(穏やかに見える彼は250ランの完走者である。特に下りの走りは誰も追いつけない)そ



巨大カール極楽平

して最後に僕(只の負けず嫌い。)がシャツ一枚で大汗をかきながらのビデオ撮り(上手く撮れているだろうか...)。今回、トップの大塚さんと僕と2台ビデオ撮っているので後が楽しみである。

極楽平で荷物をデポし、三の沢カールを滑降!スキーはそうでなくっちゃねえ。が、しんどい登り返し(荷物無いので実は楽々かな)縦走として極楽平～三の沢岳も良いコースだろう(晴れれば)。

荷物を担ぎ極楽平へ滑降。1番手に行くが、クラストした雪に少々手こずる。斜度も結構ある。二番手のお恵ちゃんはいびりまくり(そんなに怖いかな?)三番手安田さんは転倒。スキー始めたばかりでよー来るなぁと関心。ボーゲン今年で卒業よ!!と心に決めたはず。最後に『昨年のリベンジや!』と大塚さん。果敢に滑り出したがりベンジは来年に持ち越しか～??。証拠はビデオまで...

いよいよ千畳敷登りへ。長～～い登りも、最後尾は楽しい。(ビデオ撮るのも休めて良い)。下から眺めたらREIの宣伝のよう(みんな格好いい)。登り切ると、天狗岩(鉄人28号?の方が似てる)宝剣岳が素晴らしい。疲れも癒えてくる。中岳を登り返して木曾駒ヶ岳方面へ。中岳山頂で神社にお参り。

安田さんが少々?疲れてきたようなのでテントを持つことに。荷下ろしでリュックが擦れて腕が痛い。日焼け止めは必須であるが腕に塗るのを忘れていた(後に温泉でエライ目に)。

木曾駒ヶ岳に到着で、5時半であった。昨年と降雪量が全然違い、(昨年は木曾駒ヶ岳山頂をま



木曾駒ヶ岳山頂

くコースで危ないルートを通ったそうである)小屋の屋根も見えている。残念ながら景色は黄砂の影響で御嶽山もかすんで見えない。

木曾駒山頂小屋に到着。小屋は今日始めて開けたそうである。2000年11月でカレンダーが止まっている。小屋の主人の恥ずかしそうな(照れ屋さん?)な表情を見ていると、あー到着したんだなと安心感が募る。ビールが旨く、夜も更けてゆく……。

翌朝4時50分。寝起きの悪い僕が目覚めると誰もいない。あわてて追いかけて皆でご来光を見に行くが、既に日は出ていた。しかし代わりに富士山~北・南アルプス等々素晴らしい展望が待っていた。最高!

小屋で朝食を済ませ、千畳敷へ。時間があるので中岳、甲斐駒の池方面、乗越浄土等々、森林限界を超えたスキー三昧!!。素晴らしい。

スキー、荷物をデポし、宝剣岳へ。ピッケルを使っての登山。天候はいよいよ(予報通り)曇り空、僕の心も曇り空(高いところで狭いところは怖いのだ!)。雪虫の羽にいい



天狗岳を背景に

よ湿気にあてられ、落ちてくる中、超ビビリマンがゆく(僕)。きっとビデオでは情けない姿だろう。宝剣山頂では、怖いモンなしのお恵ちゃんが絶好調!。8環で登山ルートではないところを降りると、『みんな来ーヨー』と悪魔のささやき。……結局8環で降りました。

緊張の後ラーメンタイム。「旨い、」こんなうまいラーメンは無いだろう等と話していたら降雪が。5月やでもうすぐ……。

千畳敷を途中まで歩いて降り(最高部からは滑降禁止。雪崩防止のため)途中から滑降し、千畳敷駅へ。極楽平もリベンジしたかったが、いよいよ降雪が激しくなったので下山。なーに山は逃げないさ。

麓でリニューアルしたばかりの温泉でゆっくりつかり(僕は腕痛いのでバンザイスタイルで……うー情けない)生ビールで乾杯。

怪我、トラブルもなく最高の登山スキーデビューでした。



中央アルプス主峰群をを率いて中岳へ……